

辻小だより

令和3年4月8日
さいたま市立辻小学校
第1号



URL <http://tsuji-e.saitama-city.ed.jp/>

MAIL tsuji-e@saitama-city.ed.jp

懐かしさと新たなる決意

校長 宮城 裕毅

今年度、井上 雅史校長の後任として、さいたま市立辻小学校の校長を拝命しました、宮城 裕毅(みやぎ ゆうき)です。どうぞ、よろしくお願いいたします。

実は、私は平成22年から4年間、教務主任、主幹教諭として、この辻小学校に勤めていました。今回、辻小学校に戻ってこられることになり、驚くと同時に、嬉しさで、胸がいっぱいになりました。前回、辻小学校を異動する時に、職員室で「私は、きっと皆さんが思っている以上に、辻小を愛しています。」と言って職員室を出ていったことを、昨日のこのように覚えています。

しかし、その頃と現在では、御案内の通り、状況は一変しています。新型コロナウイルスの感染拡大により、世界中の社会や、人々の生活が変わりました。また、さいたま市の学校は、児童、生徒に一人1台ずつタブレット端末を配付し、GIGAスクール構想を進めることとなります。また辻小学校は、今年度から、コミュニティ・スクールの実施校として、より、地域とともに歩いていく学校にならなければなりません。

しかし、私は、変わらないものもあると思っています。それは、人と人の絆の大切さ、信頼の大切さです。むしろ、このような時代だからこそ、より、大切になってくるのではないのでしょうか。

私が、前回、辻小を異動したあと、離任式で辻小に来校した際、一人のお子さんが、「今まで、ありがとうございました。」とぺこりと頭を下げて、小さな折り紙を渡してくれました。そこには、こんな内容が書いてありました。「宮城先生、雨の日も、暑い日も、いつも横断歩道で旗を振ってくれて、あいさつをしてくれて、ありがとうございました。先生は、廊下でも、いつも声をかけてくれました。でも、わたしは、恥ずかしくて、返事ができませんでした。いつか、わたしも、あいさつができるようになりたいです。これからも、がんばってください。」このとき、私は、気持ちは届いている、つながっていると、熱い思いになりました。

どんなに困難な状況になっても、デジタルイノベーションが進んでも、そこには人がいて、思いをつなげること、信頼し合うことが最も大切なことだと思います。こんな素敵なお子さん、保護者、地域に恵まれた辻小学校へ校長として赴任したことに、改めて責任の重さを感じるとともに、少しでも、辻小学校をよりよい学校にできるよう、全力でがんばろうと、ファイトが湧いてきています。

至らぬことも、多々あるとは思いますが、保護者、地域の皆様には、今年度も変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

